

報道関係各位

—60歳以上の男女284名に「高齢者のおなかの健康と生活に関する」記入式アンケート調査を実施—

高齢者の52.1%が「おなかの悩み」をもっていることが判明

～第11回日本補完代替医療学会《日時:2008年11月8日(土)～11月9日(日)》にて発表～

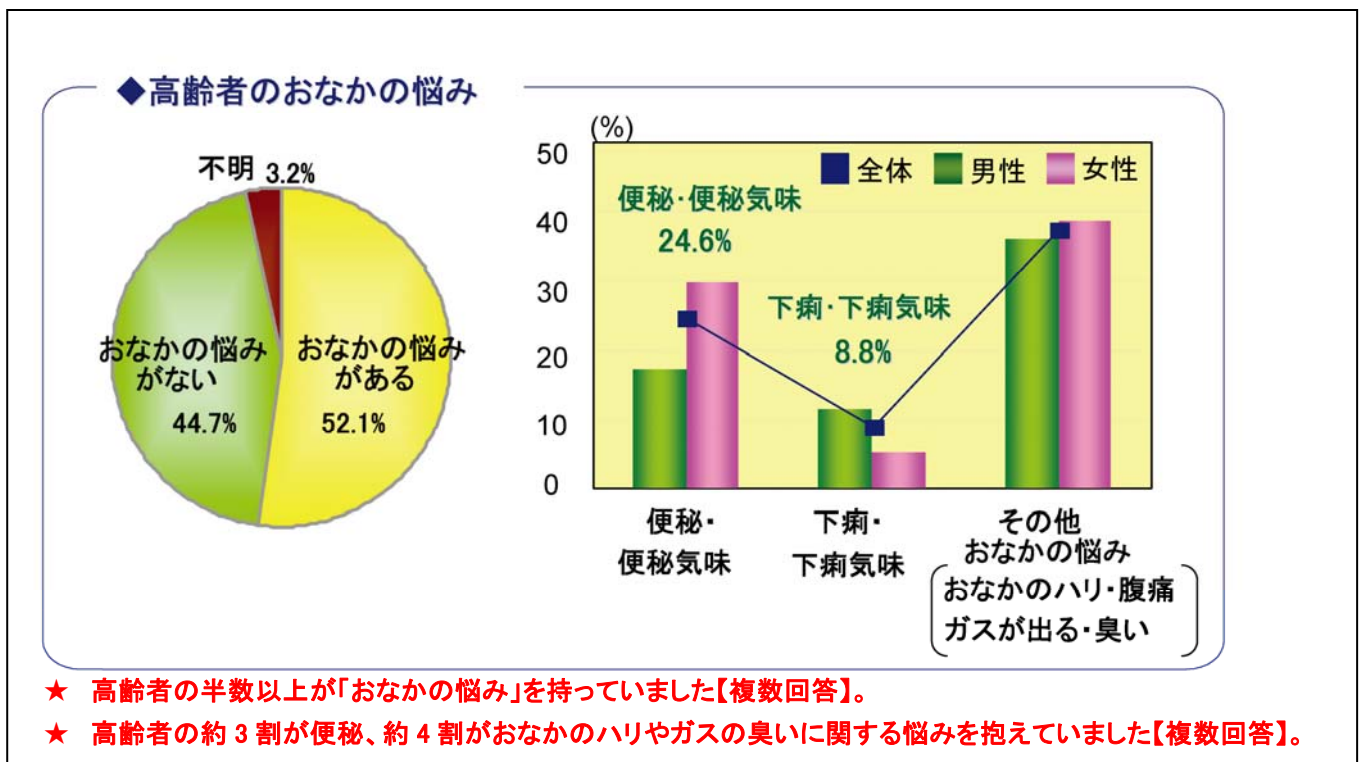
「百年人生を応援する」をスローガンとする森下仁丹株式会社(本社:大阪市中央区/代表取締役社長:駒村純一)は、長年に渡るビフィズス菌の研究をさらに深めるべく、たゆまぬ努力を続けております。

今回、60歳以上の高齢者284名(男性:139名 女性:134名 不明:11名)を対象に、「おなかの健康と生活」について記入式アンケート調査を実施し、その結果を第11回日本補完代替医療学会《日時:2008年11月8日(土)～11月9日(日)、場所:横浜市開港記念会館(神奈川県・横浜市)》にて発表しました。

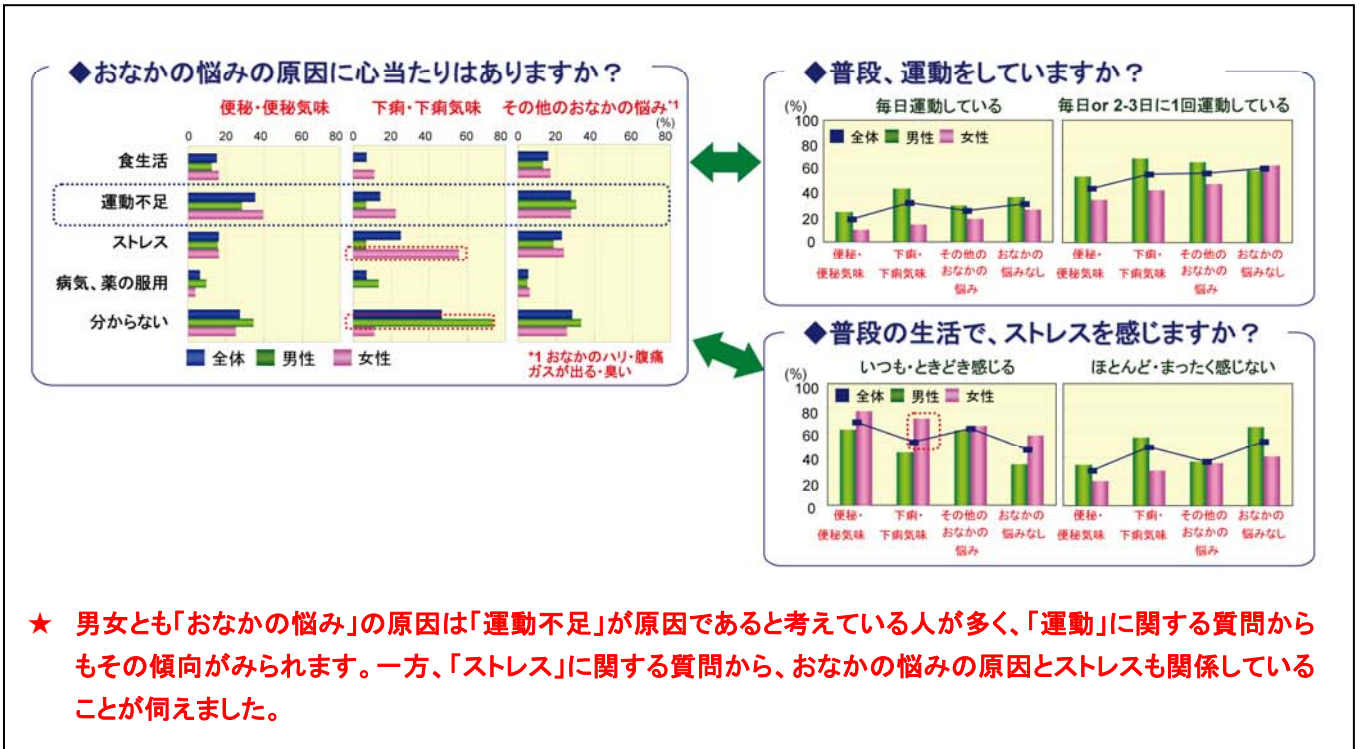
【発表の概要】

60歳以上の男女284名に「高齢者のおなかの健康と生活に関する」記入式アンケート調査を実施した結果、高齢者の半数以上がおなかの悩みを持っていることが判明しました。日本の高齢者の「おなか」への意識・実態などを調査する一環として今回のアンケート調査を実施いたしましたが、今回の調査により、おなかの悩みに関する情報提供を続けていくことの重要性があらためて示されました。今後も「おなかの健康」に対する様々な研究や新製品の開発を進めてまいります。

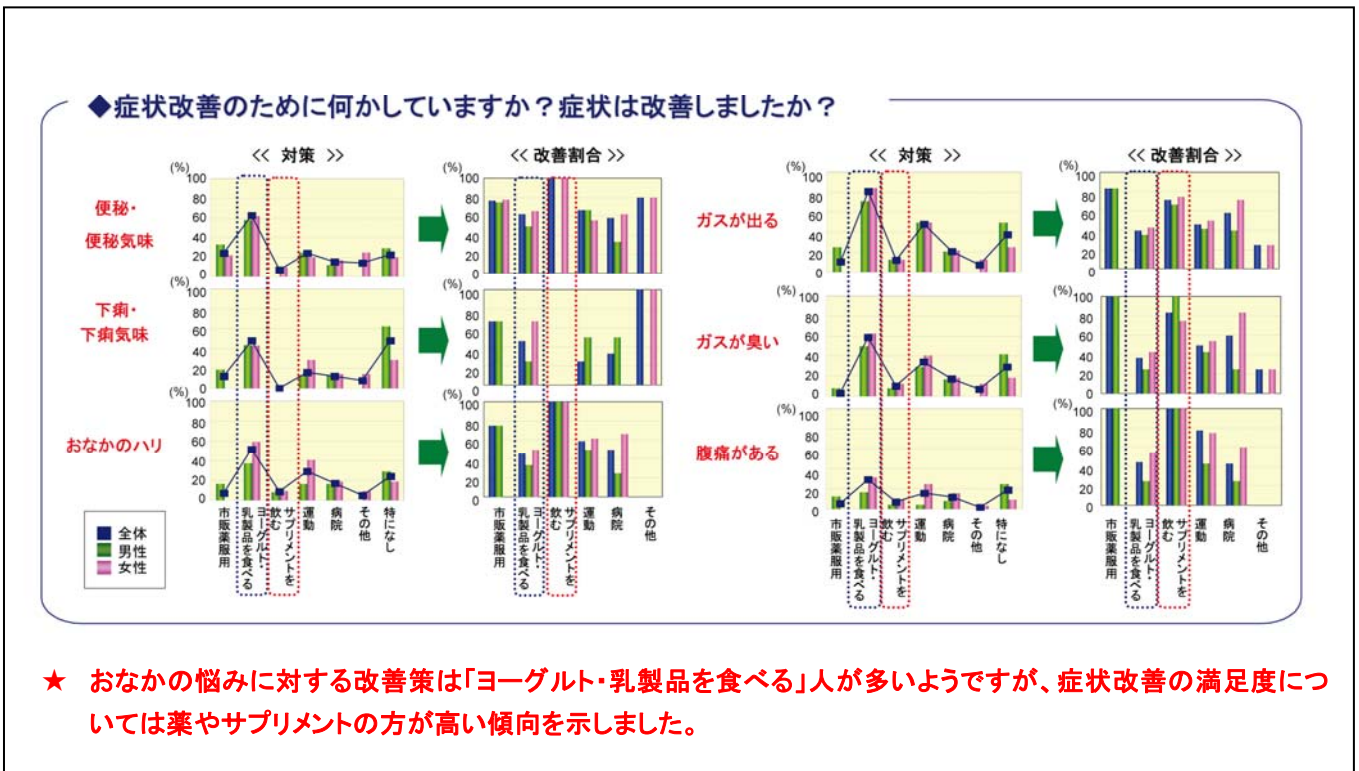
高齢者の52.1%がおなかの悩みを持っています！



原因は、運動不足やストレス！？



改善策のトップは、「ヨーグルト・乳製品を食べる」ですが、満足度は、「市販薬・サプリメントを飲む」が高い！



▼発表演題・発表者

「高齢者のおなかの健康と生活に関するアンケート調査」

○河野麻実子¹, 里見由美², 大北恵梨², 小崎敏雄², 森永健², 浅田雅宣¹,
森下仁丹株式会社 仁丹バイオファーマ研究所¹, 森下仁丹株式会社 営業推進部²

▼研究の目的・背景

高齢になると、筋力の低下や神経系の鈍化などの影響により、便秘などの排便障害がおこりやすく、これまでも「高齢者の20-40%が便秘である」など様々な報告があります。我々は、今回、便秘だけでなく、下痢やその他のおなかの悩み(おなかのハリ、ガスが出る、ガスが臭い、腹痛がある)を高齢者の何%が持ち、それは何に起因すると考えているか、どのような対策を行っているかなどについて明らかにすることを目的とし、アンケート調査を行いました。

▼調査概要

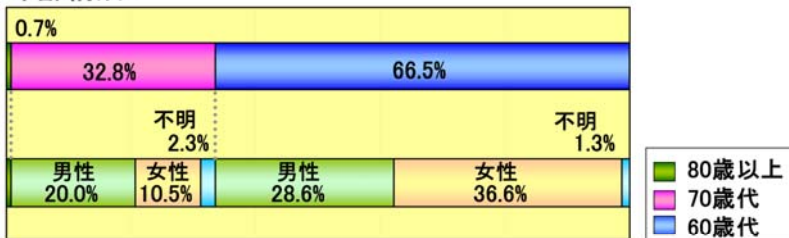
調査対象:60歳以上の男女 284名(男性:139名 女性:134名 不明:11名)

調査方法:記入式アンケート調査(調査用紙7枚)

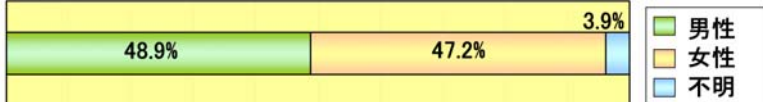
調査時期:2007年10月

【回答者プロフィール】

年齢構成:



性別:



◆日本補完代替医療学会とは

代替医学領域における基礎的・臨床的研究の促進と情報の収集・交換をはかり、代替医療の進歩・普及・発展に寄与することを目的とした学会。基礎的・臨床的研究を行なう代替医学とそれを実践する代替医療とからなる。平成2年7月に代替医療研究会として発足し、平成12年4月に日本補完代替医療学会と学会名を変更し今日に至る。(理事長 鈴木 信孝 金沢大学大学院医学系研究科補完代替医療学講座特任教授)

【本件についてのお問い合わせは】

森下仁丹株式会社 仁丹バイオファーマ研究所 浅田・小崎・河野 TEL072-800-1044

【リリースについてのお問合せは】

共同 PR 株式会社 担当:長尾・村山・林 TEL03-3571-5275 FAX03-3571-5380